6月　令和5年6月1日
ちびっこの森通信 vol.211

・梅雨期の衛生に気をつけ、健康生活の良い習慣をつける
・時の記念日、虫歯予防デー等の行事に興味をもち参加する

～今月の園内学習～

・たし算…6の段
・かけ算…6の段
・数字カード…1～20の数字
・食べ物カード…今月の旬な食べ物
・漢字カード…小学校1学年で習う漢字30
・魚へんの漢字…「かつお」「まぐろ」
・木へんの漢字…「かえで」「とち」
・絵画カード…「ピエタ」他
・歴史カード…「良寛」他
・ひらがなカード…「な行」
・国旗カード…モロッコほかアフリカ地方
・地理カード…東京都ほか関東地方
・声に出して読みたい日本語…論語ほか
・英会話…動物、曜日、季節の種類

♭今月の唄～♪
◇にじ
◆とけいのうた

～行事予定～

・歯と口の健康週間の会…2日
・書道教室…8日・22日
・英語教室…27日
・リトミック… 5日〔年中・年長〕
29日〔年少〕
・体操教室…16日〔年少〕
20日〔年中・年長〕
・避難訓練…14日
・音楽会(オーボエ)…26日
・身体測定…13日
・お誕生日会…28日

☆登園のご協力をお願いします☆

・内科健診…22日(13:30～)
・歯科検診…23日(10:00～)

～保育のポイント～

今回は脳の「右脳」と「左脳」について”「右脳教育」で子どもは変わる（七田眞著）”を参考にお伝えしたいと思います。これまで学校では（目に見える左脳の機能の）理性的、認知的発達に着目しがちで、（目に見えにくい右脳の）直感的、創造的発達の重要性は認識していても取組みとしては遅々として進まないのが現実でした。ところが、20世紀後半に医学、生理学、とりわけ脳科学の分野で目を見張る研究成果が見られ、1981年、カルフォルニア工科大のロジャー・スペリー教授のノーベル賞受賞を機に左脳と右脳の2つの機能の分化させる発見がなされるようになってきました。これからの学校（保育）教育には、知性と直感、心と体、理性と感情の統合が大切と言えます。科学の進歩で左脳は脳の下層部との連結が薄く、右脳はイメージの発生源である脳の深層部と深く繋がっていることから顕在意識の左脳と潜在意識の右脳との働きの違いも明らかになってきました。脳には左脳の電気系統、右脳のホルモン系の２つの情報回路があり、その違いから前者は人体の細胞や組織に対し微弱な効果しか発揮できず、後者は強大な働きができることも確認できました。スポーツ選手が困難に直面した際、イメージトレーニングで壁を乗り越えた、という話はこれを実証することではないかと思います。特に、右脳が働きやすい時期が0～6歳で、その後は働きにくくなるのも分かってきたことから右脳の働きに着目し、取組んでいきたいと思います。

さくら組だより

桜からツツジへと季節が移ろってくると「え～ん、えん」と泣きながら登園していた”さくらっこ”にも落ち着きが見え、ニコニコ笑顔での一日がスタートできるようになってきました。みんなの元気の源は公園での砂遊び、ブランコにジャングルジムと園内の遊具制覇が目的としてあるからなのかもしれません。ブランコは背中を押してもらってある程度の揺れに達すると嬉しさのあまりに「ヤッホ～」と雄叫びが始まります。そんな楽しいブランコは「10数えて交替」というお約束事で順番ごっこができているのが素敵ですね。ジャングルジムでは一番下の段は迷路遊び、お山登りは一段二段と登っていき頂上近くになるとサッと振り向き、怖がることなく「先生より大きいでしょう」と嬉しさあふれるドヤ顔を見せてくれる肝の座り方には驚かされます。とはいえ、それぞれが同一の目的のものだと心の内を冷静に言葉で伝え合い、解決するとは言い難い面がありますのでよく見守っていきたいと思います。

ひまわり組だより

大空を清々しい風を味方に親子で気持ちよさそうに舞う鯉のぼりの季節。そんな鯉のぼりにあやかるように元気に遊びたいところですが、朝夕と日中の寒暖差で体調管理が難しく鼻水が出てしまうことも･･･こどもたちは紙皿にマーカーでカラフルにデザインを施し、霧吹きで滲ませた素敵なブーメランを完成させました。めいめいお手製のブーメランを手に公園で飛ばしに行きました。颯爽とブーメランが飛び交い、楽しい、と言いたいところですが、なかなか思うようには飛んでくれません。そこは、みんなで作戦会議で知恵を出し合い、何とかかんとか飛ばすことができて満足の様子でした。園の自由遊びなどで玩具でぶつかり合うことは日常茶飯事ですが、最近はお互いに相手の表情から心情を汲み取り玩具の貸し借りが少しずつ出来てきているのは着実な成長を感じています。今後もよく見守っていくようにしたいと思います。

ゆり組だより

耕運機が田んぼに入り、田植えの準備が進んでいく様子から梅雨は間近だなと改めて感じる時季となりました。年長クラスのゆり組のみんなのお楽しみの一つが書道教室となっているようです。まずは、基本中の基本で座る際の椅子の位置、背筋を伸ばして鉛筆の持ち方から先生の手ほどきを受け、開始しています。まずは、みんなはそれに慣れる為に「せんあそび」プリントで肩慣らしをし、その後はひらがなプリントのなぞり書きをし、そのプリントと同じ「字」を先生の見本が書かれたノートで復習に勤しんでいます。とはいえ、「熱しやすく冷めやすい」現代っ子の特徴というか集中力が切れてしまうことから「手が疲れた」などと弱音を吐いて遊ぼうとすることもありますが･･･そこは年長児で最後まで頑張る気概はあるのは流石と感心させられます。そんなこんなで「ひらがな」への興味関心は高くなっているようで自ら絵本を読み返したり、ひょんなことら目にしたひらがなを声を出して言ったりと書道教室効果はなかなかのものとなっています。これから過ごしにくい季節となりますので体調管理をして元気に過ごしていけるようにしたいと思います。

給食室だより　～sakanaパワーを摂り込もう！～

季節は清々しい風が吹き抜けて過ごしやすい春からぐったりする厳しい暑さの夏へと移ろう前に来るのが梅雨。これは春に芽吹いた草木が「恵みの雨」で成長に必要な養分を吸収するのに大切な時期となっていますが、人間にとっては気温上昇とジメジメ感たっぷりで食欲減退となりやすいものです。そんな時には、この時期に旬を迎える美味しい魚パワーで元気チャージをし厳しい夏を乗り越えていくようにしましょう。まずは、当地では瀬戸の小イワシが有名で刺身でも天ぷらでも食されますが、血液をサラサラにするEPAを豊富に含んだ丸々と肉厚のイワシを堪能しましょう。年中出回っている感じのアジですが、サイズは小さめですが、凝縮した味わいのアジにはたくさんのアミノ酸で免疫力アップにつながります。また、脂がのったイサキは具沢山の薬味のカルパチョがお薦めです。こちらもビタミンE効果で免疫力アップや動脈硬化防止に最適です。堤防などで気軽に釣れるキスは淡白で優しい味わいなので魚嫌いの子にも挑戦しやすい魚。こちらはお酢と野菜たっぷりで体に優しい南蛮漬けがお薦めで高たんぱくで低カロリーなので消化吸収がよく体力回復に効果的です。このように旬な魚で梅雨の食欲減退期を乗り切り、食事の欧米化からくる生活習慣病の予防にも繋がることから魚食を見直す、いい機会になればと思います。